

## 救急車の適正利用をお願いします!!

### その119番、本当に必要ですか?

近年、全国的に救急車の出場件数が増加しており、福山地区消防組合でも同様に増加傾向にあります。

救急車は、緊急に医療機関へ搬送しなければならない病気やけがの場合に利用するためのものです。

### こんな理由で救急車を呼んでいませんか?

救急車は無料だから	夜間・休日の診療時間外だった	交通手段がない
		

緊急性がない救急要請が増えると遠くの消防署から救急車が出場することになり、現場への到着が遅れることがあります。救急車には限りがありますので、大切な家族や友人の命を守るため、救急車の適正利用を心掛けましょう。

傷病者の様子や事故の状況から、急いで病院へ搬送した方が良くと判断した場合はもちろん119番通報をしてください。



### 正しい救急車の使い方を学ぼう



### 判断に迷う場合は?

消防庁が作成したホームページとスマートフォン用の全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」を参考にしたり、こどもの救急電話相談(#8000)で相談できます。詳しくはこちらから→



### 夜間の受診先を知っていますか?

福山夜間成人診療所(19:30~23:00)や福山夜間小児診療所(19:00~23:00)では、急病やけがなどの応急的な診療を行っています。

また、日頃から緊急時の受診先情報を集めておくことで役立ちます。

### 通院時!! 困ったことはありませんか?

「救急車を呼ぶほどではないが、ストレッチャーや車椅子のまま病院などに行きたい!」といった場合に患者等搬送業者をご活用ください。

患者等搬送業者とは、入退院や通院、転院、社会福祉施設等への送迎時などの移動手段を提供しています。

※詳細は福山地区消防組合ホームページの「患者等搬送事業指導及び認定業務について」をご覧ください。詳しくはこちらから→



お問合せ先 消防局救急救助課 928-1196

## 「全国女性消防操法大会」初出場で大健闘!! 福山市消防団女性分団

1月13日、横浜市で開催された第24回全国女性消防操法大会(軽可搬ポンプの部)に、福山市消防団女性分団が初出場し、全国47チーム中15位と大健闘しました。

指揮者を務めた藤代隊員は、大会を終えて「大変やりがいがある訓練でした」と振り返っていました。



## 消防と警察が初の合同人命救助訓練

1月5日の「津波防災の日」に福山地区消防組合、福山東警察署、広島県警本部が震災時を想定した初の合同人命救助訓練を消防局箕沖訓練場で行いました。参加した職員67人は、津波が到達するまでの限られた時間内で、地震により倒壊した建物に取り残された人をいかに早く救出するかという想定で実施し、消防と警察は、一連の情報収集から救助まで、災害現場活動の具体的な役割分担を確認し、連携体制の強化とともに、災害対応能力の向上を図りました。



## 深安消防署は建て替えに伴い 仮庁舎へ移転し消防業務を行います!

防災拠点の一つである福山市北部の深安消防署は、施設の老朽化のため現在地での建て替えを行います。新庁舎完成までの間、仮庁舎へ移転しますのでお知らせします。

なお、管轄区域・電話番号は変更なく、移転先と業務期間については次のとおりです。

- ・移転先 福山市神辺町大字川北948-1 「旧神辺中央コミュニティセンター」
- ・業務期間 2020年3月1日から 2022年3月末日まで(予定)



# 福山 消防だより

第276号

2020年(令和2年)2月20日

福山市防火協会連合会  
福山市沖野上町5-13-8  
TEL 928-1191



分列行進



総合防災訓練

## 2020年 福山消防出初式



木遣(はしご乗り)

新春を飾る恒例の福山消防出初式が1月12日、草戸町の芦田川河川敷で盛大に行われました。消防組合や消防団、地域の自主防災組織など約2千人の参加部隊は、分列行進、式典や実災害さながらの各種訓練を披露しました。消防団員による伝統の「はしご乗り」や消防車16台による色鮮やかな「一斉放水」では、約1万人の来場者から大きな拍手が湧き、参加者は住民の安心安全を守る決意を新たにしました。

# 春の火災予防運動

実施期間: 3月1日(日)から3月7日(土)までの7日間

この時季は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。地域が一体となって身近に潜む火災危険を取り除き、火災を未然に防ぎましょう。

## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

— 3つの習慣・4つの対策 —

### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 4つの対策

- ★逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ★寝具や衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ★火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ★お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

## ☆火災予防啓発に関わる各署の主な行事☆

- ・2月22日(土) 10時30分~ 街頭広報(北) 天満屋ポートプラザ店 ゆめタウン福山
- ・2月29日(土) 10時00分~ 幼年消防クラブ発表会(深安) フジグラン神辺
- ・2月29日(土) 10時30分~ 街頭広報(南) ハローズ緑町店
- ・3月1日(日) 9時30分~ 街頭広報(東) ゆめタウン蔵王
- ・3月7日(土) 9時00分~ 防火ふれあいフェスタ(西) 西消防署
- ・3月8日(日) 9時00分~ 山林火災合同訓練(芦品) 新市町金丸付近一帯

2019年度 全国統一防火標語 「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」

命を守る  
「巨大避難タワー」を視察



11月17日、18日、西防火協会は、香川県防災センターと高知県佐賀地区津波避難タワーの視察研修を実施しました。津波避難タワーは、太平洋沿いに位置し、最大津波高3.4mと予測されているこの地区の住民の命を守るために建設された高さ2.5mの巨大施設です。各協会員は、大地震に対する防災対策の重要性を再認識することができ、有意義な研修となりました。



『防火の誓い』火の用心！！

11月9日、本協会は、イズミゆめタウン松永店で西消防署、消防団、松永幼稚園・今津未来園の幼年消防クラブと連携し、街頭広報を実施しました。クラブ員の太鼓演奏等で、多くの市民に「火の用心」を訴えました。

善行市民表彰を受賞

12月14日、第52回福山明いまちづくり推進大会において、本協会長の松本康宏様は、永年にわたり地域の防火防災活動に尽力された御功績により、善行市民賞「せんだん賞」を受賞されました。心からお祝いを申し上げます。

地域防災の確立に向けて！！



11月16日、17日の2日間、深安防火協会は視察研修を行いました。

香川県防災センターでは、地震の驚異を体験し、阪神淡路大震災をテーマとした人と防災未来センターでは、語り部による体験談を聞かなかで、自然災害の恐怖と被災した人々が協力して困難に立ち向かった復興エネルギーを感じ取ることができました。



参加者は、地域防災の確立が身近なこととして、いかに大切であるかを学びました。

防火・防災は我が家、我がまちから

11月24日、福山市総合防災訓練の日に合わせて、本協会中条支部は、防災訓練、防犯・防災パレードに参加しました。

約300人の参加者が中条小学校へ避難し、各種訓練の後、学区内をパレードし「火の用心」や自然災害時の「早期避難」を呼び掛け、防火・防災意識の高揚を図りました。



真備町の災害を教訓に!!  
視察研修に参加



11月16日、芦品防火協会は倉敷市消防局を訪問し、「平成30年7月豪雨災害」による倉敷市真備町の被災状況やその教訓を職員から説明を受けました。避難指示が出た後も自宅にとどまった人が多く、亡くなった方のほとんどが1階にいたため、早めの避難がいかに大切かを教わりました。また、浸水により被災した地域とハザードマップを重ね合わせると、ほとんど同じ地域であったという説明を受け、平常時におけるハザードマップの活用が重要であることも学びました。現地視察では、川の堤防が決壊し、浸水した高さが井原鉄道の橋脚約5mへラインで示されており、その自然災害の驚異を目の当たりにしました。

次に訪問した倉吉市防災センターでは、平成28年に発生した「鳥取県中部地震」の体験を聞き、その後、併設された国土交通省河川防災ステーションでは、洪水時に出勤する排水ポンプ車などの特殊車両を見学しました。

参加者は「全国各地で災害が発生している。他人事とは思わず、自分のこととして日頃から備えをしたい」と話していました。



令和2年度 南防火協会防火標語



『2020 防火も五輪も 世界一』に決定!!

南防火協会では、毎年度、防火標語の募集を行っています。

本年度は、管内の小学校を中心に3,063点の応募があり、厳正な審査の結果、西小学校4年生山本愛さんの作品が最優秀賞に選ばれ、1月20日、同小学校で行われた表彰式では、篠原協会長から、賞状と記念品が授与されました。

山本さんは、「少しでも、みんなが火事のことについて考え、防火も五輪も世界一にしたいという思いを込めた。たくさんの中から選ばれて、とてもうれしい」と話していました。



広島県知事表彰を受賞

12月2日、広島県庁で広島県消防関係者表彰式が行われ、本協会長の篠原憲二様が、消防関係功労者として県知事表彰を受賞されました。

この表彰は、永年にわたり地域の防火防災活動に尽力された功績を讃えるものです。心からお祝いを申し上げます。

尊い命を守るため  
 救急車は本当に必要なときに!!  
 火災等の問い合わせは  
 0180・9988・888番  
 テレホンガイド

身近なところから「火の用心」!!



秋の火災予防運動初日の11月9日、北消防署と北防火協会は、福山市入船町のポートプラザ日化で防火や住宅用火災警報器の設置、維持管理などを啓発する街頭広報を行いました。

いちご幼稚園の園児70人の演奏や福山誠之館高校チアリーディング部員30人の演技とともに、本年度の全国防火標語「ひとつずつ いいね!で確認 火の用心」と書いた横断幕を掲げ、防火を呼びかけると、多くの来場者から拍手が湧きました。



最後に、協会役員が「住宅用火災警報器の設置は済みましたか?」と啓発チラシ等を配布し、身近なところから防火に努めるよう、火災予防を訴えました。



街頭広報で  
「火の用心」を呼びかけ!



秋の火災予防運動期間中の11月10日、イズミゆめタウン蔵王駐車場で、東消防署、消防団、東防火協会が街頭広報を実施しました。

会場では、「防火」と書かれた法被姿の富士こども園の園児による元気な和太鼓演奏、消防団員による消火器取扱い方法の指導や女性消防団員が防火チラシや風船を配布して、広く火災予防を呼び掛けました。



火災予防を再確認!  
～街ぐるみ家庭ぐるみで防火の輪～

11月13日、東消防署で「東防火協会家庭防火教室」を開催しました。

各支部から35人の協会員が参加し、家庭内の防火対策について研修した後、消火訓練、天ぷら油の消火実験、煙体験などを行い、身近に潜む火災危険から「大切な命を守る」貴重な体験をしました。



2019年(令和元年)中の火災の概況

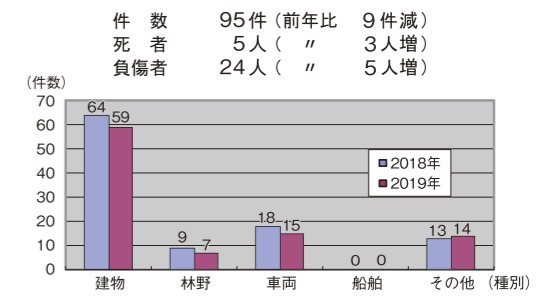
2019年(令和元年)中の福山地区消防組合管内の火災件数は95件で、前年と比較し9件の減少となりました。

火災の種別では、建物火災が減少したものの、全体の62%を占め、死者、負傷者ともに増加となりました。特に、住宅火災による死者は、すべて65歳以上の高齢者で、住宅用火災警報器が設置されていませんでした。

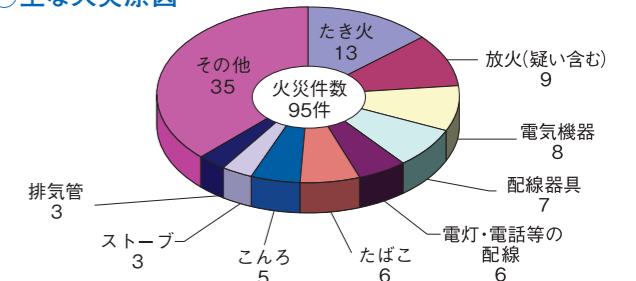
福山地区消防組合では、火災をいち早く知らせ、逃げ遅れを防ぐため、「住宅用火災警報器」の設置率100%を目指しています。

まだ設置されていないご家庭は、1日も早く設置しましょう。また、「いざ」というときに正しく作動するよう、定期的に点検をしましょう。

○福山地区消防組合管内 火災発生状況



○主な火災原因



東消防署へ最新鋭のはしご車配備

東消防署のはしご車が更新され、2019年11月25日から運用を開始しました。

このはしご車は30m級で、作業能力に優れているほか、伸縮水路管が装備されており、放水までの時間が短縮されるとともに、毎分3,000ℓの放水が可能です。

また、A-2級の動力消防ポンプ装置も装備しており、ポンプ車としての機能も有しています。

